

4月から

# リサイクルセンターが稼働します！

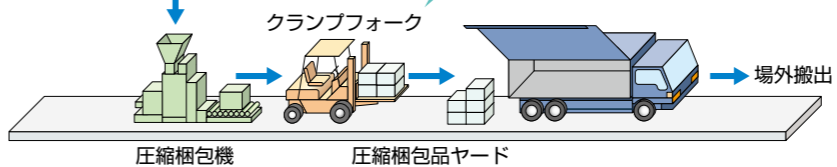
リサイクルセンターは平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に位置付け、整備された施設です。大磯町と二宮町の「容器包装プラスチック」と「ペットボトル」を処理するリサイクル施設、大磯町の可燃ごみを効率的に輸送する中継施設、廃棄物を各処理先に搬出までの間、保管しておく選別・保管施設が備わった施設構成になっています。

問 美化センター  
☎(72) 4 4 3 8

## 施設の概要

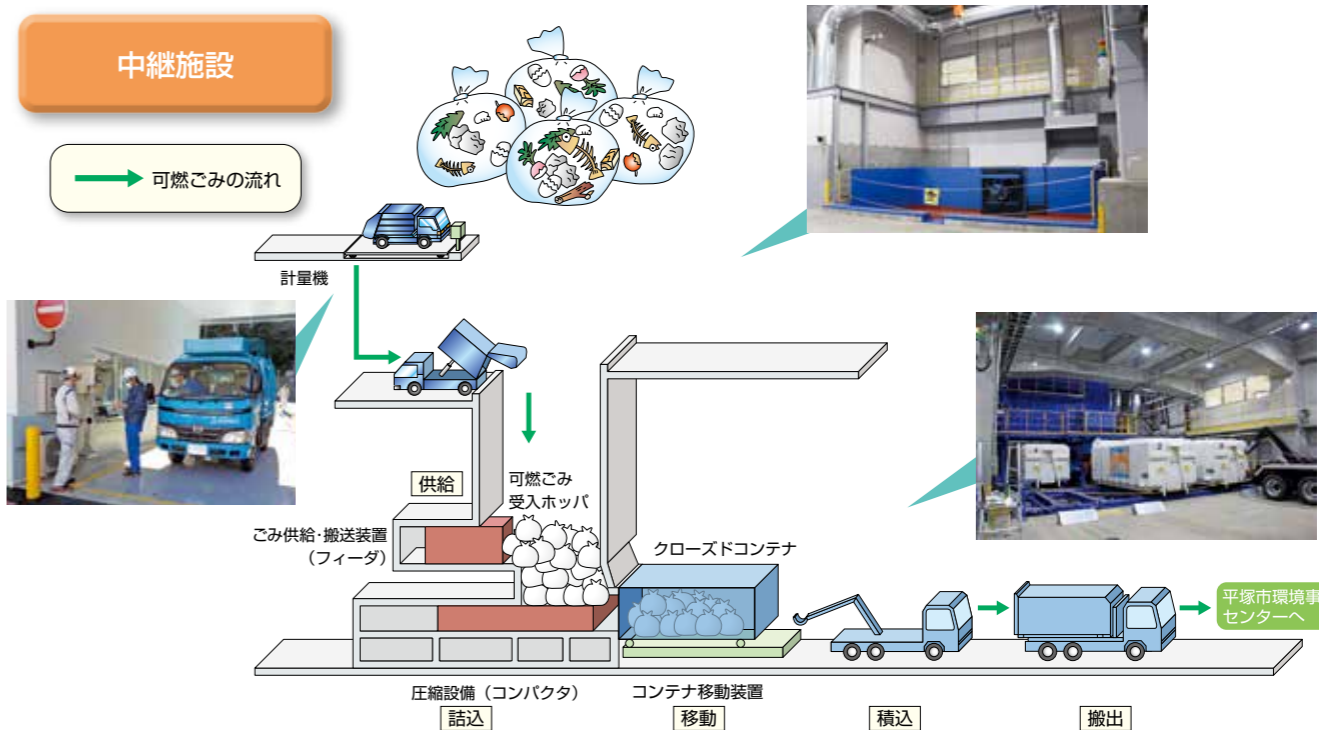
### ●リサイクル施設

容器包装プラスチックとペットボトルの処理を行う広域処理施設です。搬入されたものは圧縮・梱包されます。容器包装プラスチックは化学燃料の原料として使用されたり、プラスチック製品として生まれ変わります。ペットボトルは再びペットボトルや繊維製品としてリサイクルされます。



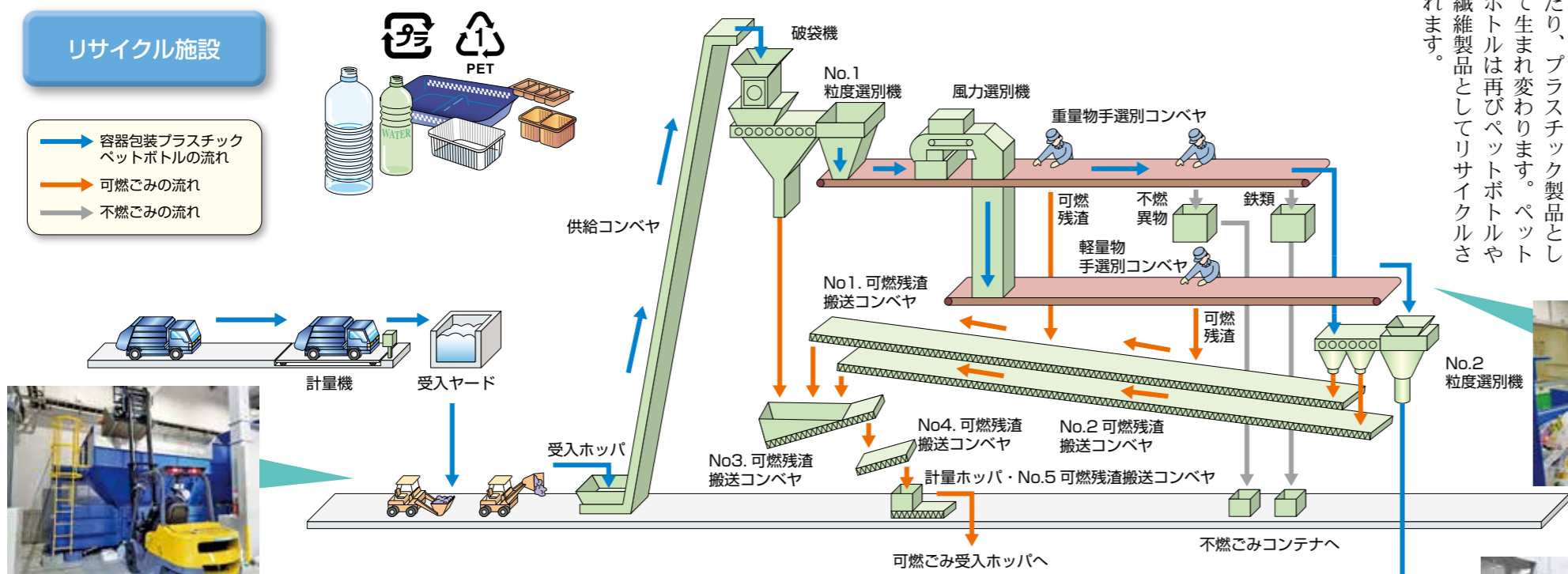
## 中継施設

→ 可燃ごみの流れ



## リサイクル施設

→ 容器包装プラスチック  
ペットボトルの流れ  
→ 可燃ごみの流れ  
→ 不燃ごみの流れ



●中継施設  
中継施設は通常のごみ収集車よりも大きな車両に圧縮して積み込み、平塚市の環境事業センターまで効率的な輸送を実現するための大磯町のみが使用する

施設です。  
大きな車両に積み込むことで、平塚市の環境事業センターに搬入する車両の台数を減らすことができ、周辺環境への負荷を軽減することができます。

●選別保管施設  
大磯町から排出される廃棄物を平塚市リサイクルプラザ、平塚市粗大ごみ破碎処理施設、二宮町ウッドチップセンター、民間事業者へ搬出するまでの間、選別して保管する施設です。



▲選別保管ヤード



▲コンテナ保管庫

所在地	虫窪53番地
敷地面積	8,006.53㎡
処理能力	リサイクル施設: 6t 可燃ごみ中継施設: 47t
建設工事費	17億6,040万円(税込) (平成28年4月～平成30年3月)
運営委託費(20年間)	29億4,300万円(税込) (平成30年4月～平成50年3月)

## ごみや環境問題を学ぼう！

リサイクルセンターには、ごみや環境に関する内容を学ぶことができるように1階と3階に見学スペースが設けられています。見学スペースからはごみの搬入や選別作業などを見ることができるほか、啓発パネルやクイズ、屋上に設置された太陽光パネルの発電量を見ることができるモニター等によりごみや環境に関する内容を学ぶことができます。

同センターでは施設見学の以外にもごみや環境に関するイベントを随時開催していく予定で、広報やホームページ等でお知らせしていきます。



▲展示啓発スペース



▲屋上に設置された太陽光パネル